

「誰のための支援？」

～罪を犯した高齢者や障害者の
福祉的支援の現場から～

日時

2019年10月17日

木

2時限目 10:40-12:10

場所

堺キャンパス SB301 教室

【聴講無料 申し込み不要】

講演概要

日本では犯罪(刑法犯)の認知件数そのものは、平成14年をピークに減少している一方、再犯者による犯罪件数の割合は年々増加し、“約3割の再犯者によって、約6割の犯罪が引き起こされている”とされています。再犯を防ぐためには、更生をめざす「元犯罪者」をも温かく包み込む「排除のない地域社会」が必要ではないでしょうか？加害者に特化した支援ではなく、社会の仕組みの一部としてとらえてもらえるような講義内容にしたいと考えています。

プロフィール

1996年から求人広告の会社に入社したが、一身上の都合により退職。病院のソーシャルワーカーとの出会いから、新たな道をめざし、社会福祉士、精神保健福祉士を取得し、2005年から相談員として勤務する。難病相談センター、地域包括支援センター、高齢者虐待専門相談員をへて、現職の地域生活定着支援センターに至る

講師



一般社団法人よりそいネットおおさか
大阪府地域生活定着支援センター所長

山田真紀子氏

やまだまきこ

(社会福祉士・精神保健福祉士)